

機構ホームページ掲載用原稿

団体名	国立大学法人信州大学グローバル化推進センター						
事業名	留学生と企業・地域の協働学習ステップアップ事業～長野を地域とグローバルな視点から理解する～						
実施期間	2025年9月26日～27日						
場所	長野県駒ケ根市、および飯島町						
参加者数	外国人留学生	日本人学生	地域住民 (留学生以外の外国人)	地域住民 (外国人除く。地域のスタッフ含む)	申請団体スタッフ	その他	合計
	10	5	2	19	4	1	41名

<実施内容>

公益財団法人中島記念国際交流財団からの助成を受け、信州大学では、連携大学とともに、2025年度「ながの信州学」を9月26日～27日の一泊二日で実施しました。信州大学から13人、金沢大学から2人の計15人の学生が参加し、外国人の方を含む企業人・地域の方々20名余りにご協力いただきました。

今回のテーマは、長野ならではの魅力を外国人留学生・日本人学生に感じてもらうこと、特に外国人留学生には、グローバル人材を求める企業の方々や海外での経験をお持ちの地域方々との交流を通じて、地域において自分が持つ可能性を感じてもらうこと、日本人学生には、留学生も含めた多様な人たちとの交流を通じて多様な視点から地域の魅力を発見してもらうことでした。

内容は、和食に欠かせない伝統調味料である酢を製造する内堀醸造株式会社への会社訪問と社員の方々との座談会、長野県立大学健康発達学部教授・中澤弥子先生から、ユネスコ無形文化遺産に認定された和食、そして長野ならではの伝統食、郷土料理についての講義、さらに南信地域の企業4社をお招きしグループ・ワークを行いました。翌2日目には、青年海外協力隊長長野県OB会にご協力をいただき、元隊員の皆さんと交流の機会を持ち、その後は、長野の郷土食「おやき」作り体験を地元の方々3人にご指導いただきながら楽しみました。

盛りだくさんの「ながの信州学」でしたが、さまざまな方々との交流を通じて、普段の授業やこれまでの経験とは違った新たな学びの機会になったようです。今回の「ながの信州学」の開催にご協力をいただきました皆さま方に厚く御礼を申し上げます。

<記録写真>



訪問企業社員の方々と座談会



グループワーク後の共有



おやき作り体験中

<参加者からのコメント>

グエン・ミン・ドゥックさん (ベトナム)
/NGUYEN MINH DUC

カマラ・シヤムさん (ガンビア) /Camara Jam

今回のイベントに参加して、地域や文化について新しい発見が多くありました。交流を通じて人とのつながりも広がり、とても有意義な時間を過ごすことができました。今後もぜひ参加したいと思います。	(Extremely satisfied) Because everyone was equally accommodated irrespective of nationality. The interactions with Japanese and other foreigners was great and exiting. (訳：出身国に関係なく、みんなが同じように受け入れられていて、今回の事業に大変満足しました。日本人や他の外国人との交流もとても楽しかったです。)
--	---

英語名称 (英語版作成用)

団体名	Center for Global Education and Collaboration, Shinshu University
事業名	Step-up Program for Collaborative Learning Between Students, Local Communities, and Businesses: Exploring Nagano from Local and Global Perspectives